
経営統合について



2006年12月11日

株式会社マルハグループ本社

株式会社ニチロ

目次

Section 1:	経営統合の概要について P. 2
Section 2:	各事業について P. 8
Section 3:	財務データ P.17
Section 4:	最後にP.21

Section 1 : 経営統合の概要について

経営統合の背景

厳しさを増す業界環境

少子高齢化による食市場の成熟化

食の安心・安全問題

小売・中間流通の集約化・大型化

世界的な水産物需要拡大による原料価格の高騰



水産・食品会社として求められている戦略

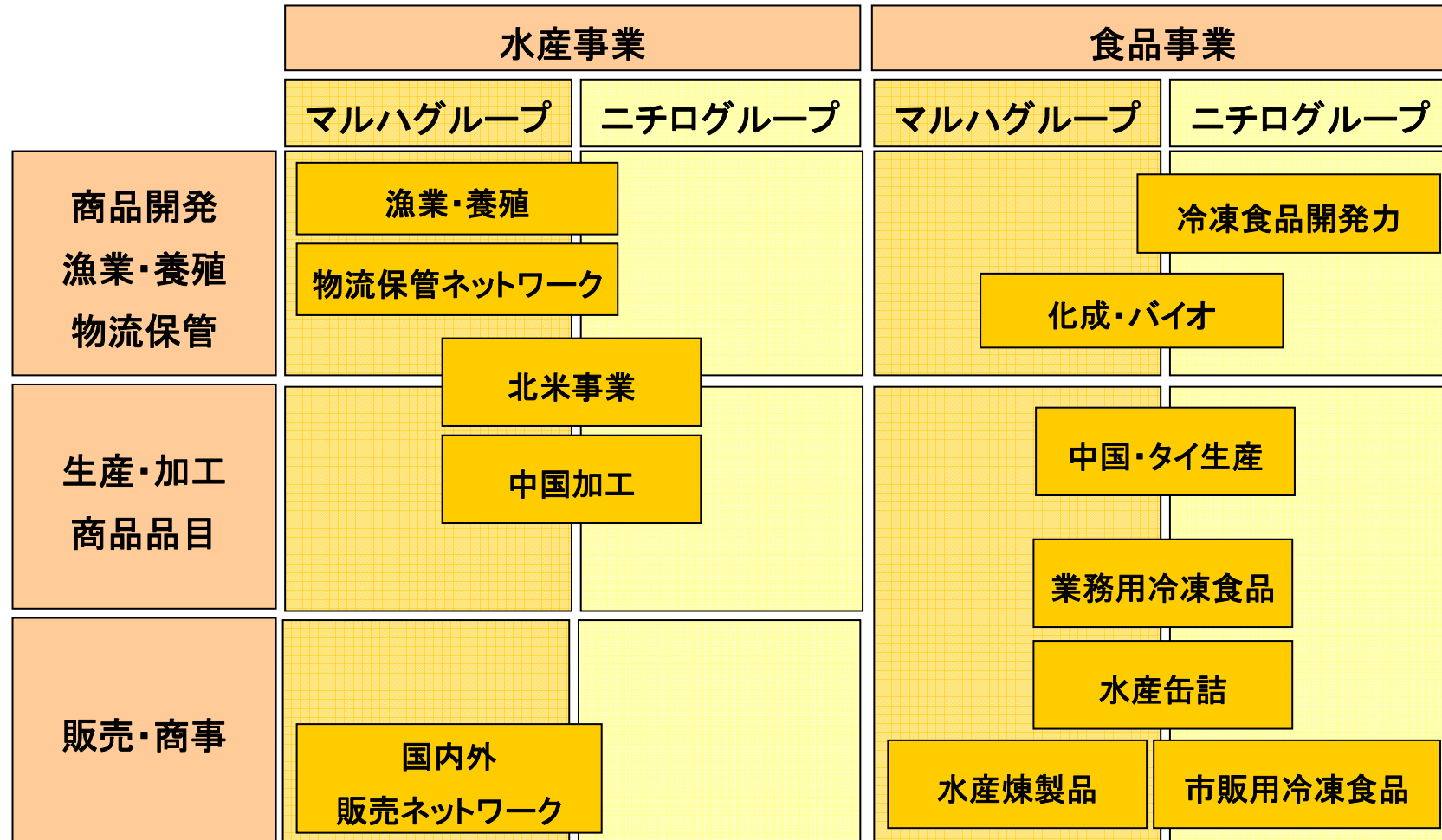
優位性のある事業の成長戦略

新規参入による事業範囲の拡大

より一層の効率化

経営統合の目的

サプライチェーンの強化と商品ラインアップの充実



新統合持株会社

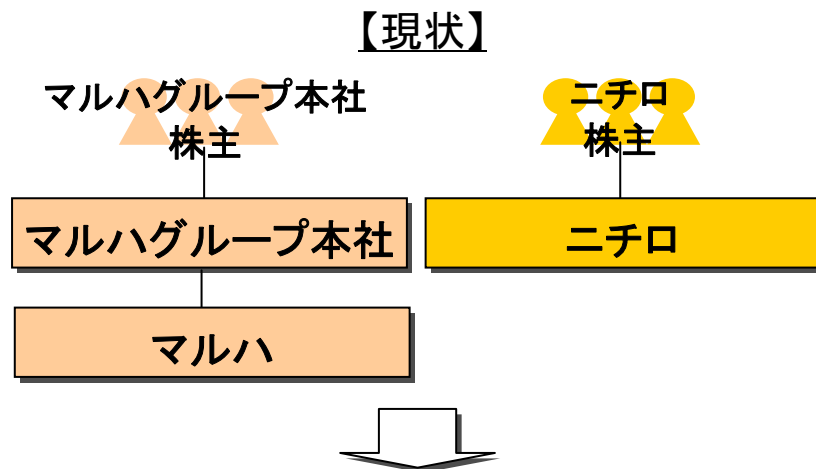
持株会社体制

名 称	(和文) 株式会社マルハニチロホールディングス (英文) Maruha Nichiro Holdings, Inc.
本店所在地	東京都千代田区大手町一丁目1番2号
経営体制	代表取締役会長 田中 龍彦 (現ニチロ代表取締役社長) 代表取締役社長 五十嵐 勇二 (現マルハグループ本社代表取締役社長)

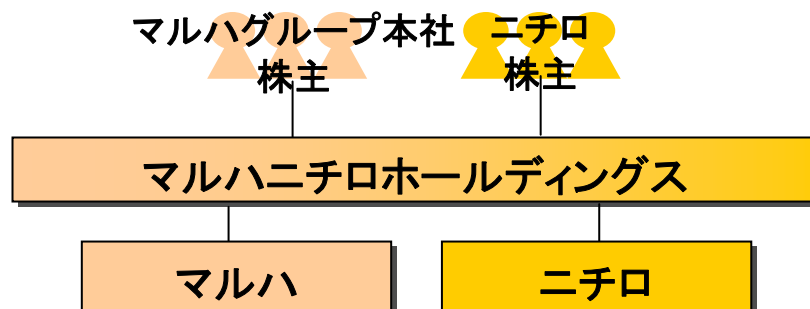
(※) その他の代表取締役、取締役、監査役候補につきましては、株式交換契約締結までに決定いたします。

統合スキーム／今後のスケジュール

統合スキーム



【2007年10月1日株式交換時】



株式交換以降、順次グループ会社の再編を予定しております。

今後のスケジュール

2006年12月11日	基本合意書締結
2007年5月下旬	株式交換契約書承認取締役会
2007年6月下旬	株式交換契約書承認株主総会
2007年10月1日	株式交換の日

主な統合効果

事業体制の最適化

グループ会社を含めた全事業分野における再編を行うことで、効率化が見込めます。

収益効果

調達力、国内外の生産・販売機能の活用、製造技術、商品開発力や品質管理等のノウハウ、物流保管インフラの共有などにより、収益力の向上が見込めます。

コストダウン効果

重複機能の効率化(生産・販売拠点再編や管理業務)により、コストダウン効果が見込めます。

財務体質の改善

資産圧縮、有利子負債の削減を促進させ、財務基盤の安定化を図ってまいります。

Section 2 : 各事業について

水産事業 ①概要

水産事業の売上高は約6,400億円(06/3期ベース)に

【両社の水産事業会社】

	マルハグループ	ニチログループ
漁業・養殖	大洋エーアンドエフ マルハ増養殖事業部 マダガスカル水産／ヌサンタラ漁業 等	P.T. Alfa Kurunia Fish Enterprise
北米	Westward Seafoods , Inc. Alyeska Seafoods , Inc. Supreme Alaska Seafoods , Inc. Trans Ocean Products , Inc. 等	Peter Pan Seafoods , Inc. Golden Alaska Seafoods , Inc. 等
水産商事	マルハ 等	ニチロ 等
荷受	大都魚類／神港魚類 等	—
戦略販売	マルハ直販事業部／北州食品 等	—

水産事業 ②水産商事事業の一層の強化

【2005年度の両社の主要魚種別売上数量】

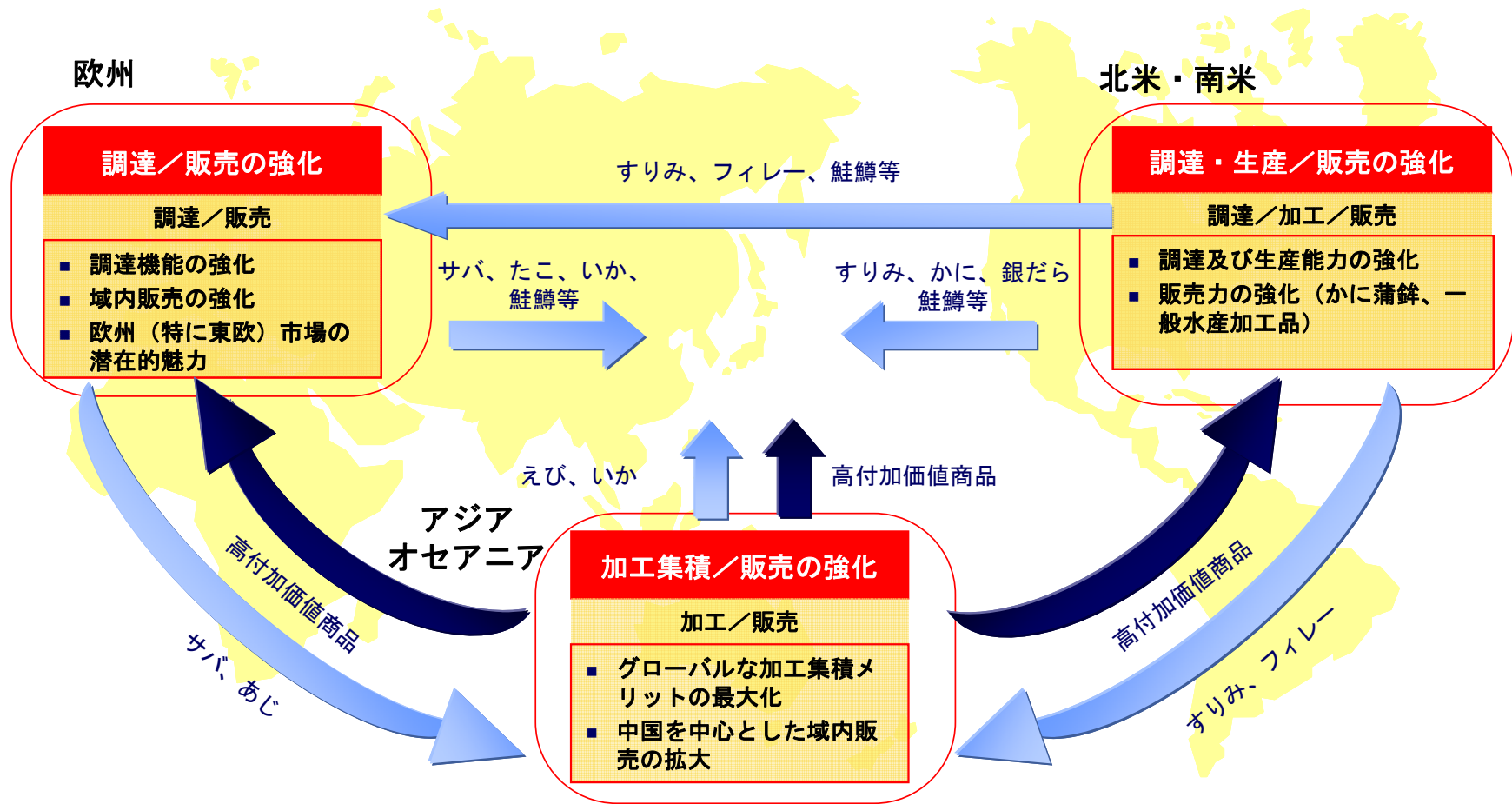
(単位:t)

魚種	マルハ	ニチロ	合算	<参考> 輸入シェア
すり身	45,000	10,000	55,000	(※)12%
エビ	39,000	12,000	51,000	18%
鮭鱒	13,000	20,000	34,000	9%
鯉鮪	31,000	1,000	31,000	3%
タコイカ	22,000	4,000	25,000	11%
カニ	5,000	4,000	10,000	7%
魚卵	5,000	3,000	8,000	15%

(※) すり身については、国内供給シェア。

(注) すり身以外の魚種の国内輸入総数量については貿易統計、すり身の国内供給量については水産通信社データをベースとして算出。

水産事業 ③海外戦略の一層の強化



食品事業 ①概要

食品事業の売上高は約2,700億円(06/3期ベース)に

マルハグループ主要商品

ニチログループ主要商品

冷凍食品



缶詰



水産
煉製品



レトルト
食品等



デザート



化粧品
バイオ



食品事業 ②冷凍食品事業の強化

(単位:億円)

社名	2003年度		2004年度		2005年度	
ニチレイ	1,667	15.0%	1,768	15.7%	1,821	15.9%
加ト吉	1,370	12.4%	1,411	12.5%	1,443	12.6%
味の素冷凍食品	1,031	9.3%	1,054	9.3%	1,101	9.6%
ニチロ	822	7.4%	770	6.8%	795	7.0%
日本水産	661	6.0%	667	5.9%	670	5.9%
極洋	573	5.2%	562	5.0%	513	4.5%
キューピー	420	3.8%	390	3.5%	390	3.4%
日東ベスト	340	3.1%	358	3.2%	371	3.2%
ジェイティフーズ	270	2.4%	321	2.8%	365	3.2%
ヤヨイ食品	316	2.8%	304	2.7%	325	2.8%
日清フーズ	299	2.7%	300	2.7%	315	2.8%
アクリフーズ	235	2.1%	269	2.4%	315	2.8%
明治乳業	284	2.6%	282	2.5%	281	2.5%
マルハ	253	2.3%	257	2.3%	258	2.3%
ノースイ	193	1.7%	205	1.8%	234	2.0%
日本製粉	185	1.7%	192	1.7%	190	1.7%
その他	2,170	19.6%	2,171	19.2%	2,044	17.9%
合計	11,089		11,282		11,431	

3社合計
1,368億円(12.0%)

(出所) 日刊経済通信社調べ

食品事業 ③缶詰事業の強化

(単位:1,000実箱)

社名	2002年度		2003年度		2004年度	
はごろも	8,865	36.0%	8,776	33.9%	8,395	33.9%
マルハ	3,059	12.4%	3,390	13.1%	3,455	13.9%
あけぼの	1,660	6.7%	1,880	7.3%	1,850	7.5%
ニッスイ	1,608	6.5%	1,735	6.7%	1,813	7.3%
いなば	1,476	6.0%	1,567	6.1%	1,637	6.6%
キョクヨー	713	2.9%	987	3.8%	1,122	4.5%
ホテイ	1,052	4.3%	1,178	4.5%	1,076	4.3%
ほにほ	967	3.9%	1,152	4.4%	1,057	4.3%
SSK	691	2.8%	708	2.7%	689	2.8%
ちょうした	433	1.8%	459	1.8%	467	1.9%
合計	24,600		25,900		24,800	

2社合計
5,305千箱(21.4%)

(出所) 日刊経済通信社調べ

畜産事業

畜産事業の売上高は約500億円(06/3期ベース)に

【06/3期の畜産事業の売上高と取扱量】

マルハ畜産事業部		マルハミート&デリカ		ニチロ畜産事業部		ニチロ畜産	
売上高 : 152億円		売上高 : 121億円		売上高 : 108億円		売上高 : 108億円	
牛肉	3,800t	牛肉	400t	牛肉	5,000t	調理冷食	5,200t
豚肉	16,200t	豚肉	7,000t	豚肉	3,000t	畜産加工品	4,200t
鶏肉	1,500t	鶏肉	14,200t	鶏肉	12,900t	牛肉	7,700t
その他	1,700t	その他	2,900t	加工品	1,300t		

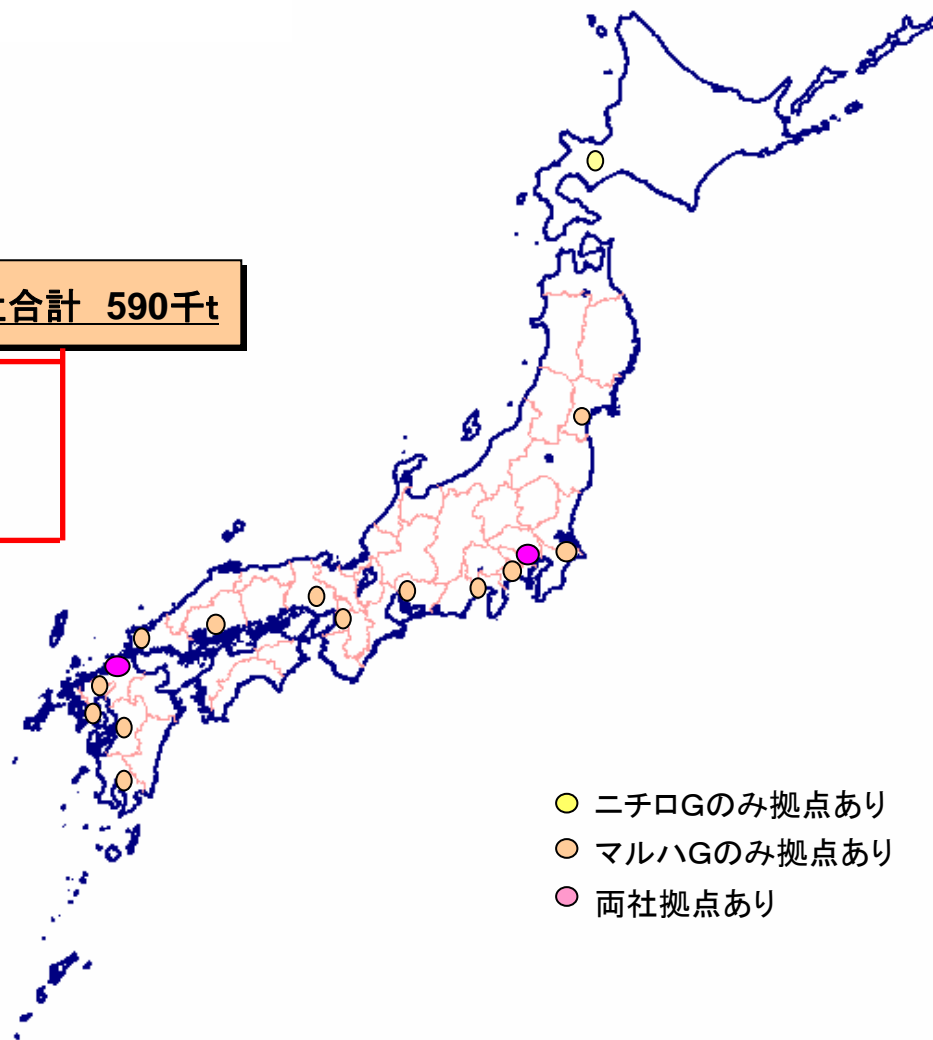
物流保管事業

物流保管事業の売上高は約220億円(06/3期ベース)に

(単位:千t)

	会社名	設備能力
1	ニチレイG	1,333
2	ヨコレイG	600
3	マルハG	543
4	東洋水産G	401
5	日本水産G	345
	ニチロG	47

2社合計 590千t



Section 3 : 財務データ

両社合算連結損益計算書（06/3期）

(単位:億円)

	マルハ本社	ニチロ	単純合算
売上高	7,193	2,541	9,734
売上原価	6,442	1,952	8,394
売上総利益	751	590	1,341
販売費及び一般管理費	644	545	1,189
営業利益	107	45	152
営業外収益	64	8	72
営業外費用	50	18	68
経常利益	121	35	155
特別利益	124	9	133
特別損失	124	9	133
税金等調整前当期純損益	120	35	155
法人税、住民税及び事業税	30	13	42
法人税等調整額	35	-4	30
少数株主利益	9	6	15
当期純損益	46	21	68

両社合算連結事業別セグメント値（06/3期）

【水産事業】 (単位:億円)

	マルハ本社	ニチロ	両社合算
売上高	5,545	827	6,372
営業費用	5,473	814	6,287
営業利益	73	13	85

【物流保管事業】 (単位:億円)

	マルハ本社	ニチロ	両社合算
売上高	205	—	205
営業費用	183	—	183
営業利益	22	—	22

【加工食品事業】 (単位:億円)

	マルハ本社	ニチロ	両社合算
売上高	1,621	1,564	3,185
営業費用	1,578	1,502	3,081
営業利益	43	61	104

【その他事業】 (単位:億円)

	マルハ本社	ニチロ	両社合算
売上高	130	275	404
営業費用	123	271	394
営業利益	7	4	11

(注) 売上高は外部顧客に対する売上高とセグメント間の内部売上の合計。

両社合算連結地域別セグメント値（06/3期）

【日本】 (単位:億円)

	マルハ本社	ニチロ	両社合算
売上高	6,724	2,353	9,077
営業費用	6,605	2,284	8,889
営業利益	119	69	187

【ヨーロッパ】 (単位:億円)

	マルハ本社	ニチロ	両社合算
売上高	43	-	43
営業費用	47	-	47
営業利益	▲ 3	-	▲ 3

【その他の地域】 (単位:億円)

	マルハ本社	ニチロ	両社合算
売上高	35	-	35
営業費用	46	-	46
営業利益	▲ 11	-	▲ 11

【北米】 (単位:億円)

	マルハ本社	ニチロ	両社合算
売上高	430	275	705
営業費用	402	266	668
営業利益	28	9	37

【アジア】 (単位:億円)

	マルハ本社	ニチロ	両社合算
売上高	246	37	283
営業費用	237	37	273
営業利益	9	1	10

(注) 売上高は外部顧客に対する売上高とセグメント間の内部売上の合計。

Section 4 : 最後に

今次経営統合にあたって

- ◆ 今までのご説明の通り、この度、マルハグループ本社とニチロは対等の精神の下、全面的な経営統合を行い、新しい水産食品グループを結成することについて基本的に合意いたしました。
- ◆ 本件統合により、ノウハウの相互交流、商品の共同開発等、両グループの良い所を最大限活用し、今まで以上に、良質かつ魅力的な商品の提供と営業サービスの向上を目指してまいります。
- ◆ 今後とも一層のご愛顧を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

当資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点で入手できる情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は様々な要素により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。また、本資料は著作権やその他本書類にかかる一切の権利は、株式会社マルハグループ本社および株式会社ニチロに属します。